

新技術で
長期安定

ビタミンC生命体

リソウコーポレーション

肌に不可欠なビタミンC

壊れやすい性質を改善

美容や健康のイメージが定着しているビタミンCだが、専門家によると知られていない事実も多いという。化粧品品のビタミンC原料サプライヤーは、誘導体を用いた安定化と皮膚への浸透性を訴求する。その中、誘導体を用いず非化学処理による長期安定化に成功した「ビタミンC生命体」が登場した。ビタミンC市場が大きく変わりそうだ。

ビタミンCは、抗壞血病の因子として発見された水溶性ビタミンの一種で、物質名はアスコルビン酸。「スコルビ」は壊血病で「ア」はアンチ(抗)

また、美容にも欠かせない素材として、シミ、ソバカスの予防やコラーゲンの生成に機能する。しかし、アルカリ性の環境や加熱によって分解されやすく、空気や酸化酵素によって酸化され、効果が低下してしまう。また、ヒトの体内では生成されない上、体の中で絶えず使い続けられながらも、水溶性のため生体内では蓄積せずに排出されてしまうのだ。さらに、摂取しても臓器優先に利

用としては抗酸化作用、活性酸素除去作用、コラーゲン合成作用、抗ストレス作用、神経伝達物質生成作用、解毒作用、免疫増強作用のほか、脂質代謝への関与、善玉コレステロールの増加に働き、生命維持や老化を遅らせることも最近の研究で明らかになった。

ビタミンCは、抗壞血病の因子として発見された水溶性ビタミンの一種で、物質名はアスコルビン酸。「スコルビ」は壊血病で「ア」はアンチ(抗)

また、美容にも欠かせない素材として、シミ、ソバカスの予防やコラーゲンの生成に機能する。しかし、アルカリ性の環境や加熱によって分解されやすく、空気や酸化酵素によって酸化され、効果が低下してしまう。また、ヒトの体内では生成されない上、体の中で絶えず使い続けられながらも、水溶性のため生体内では蓄積せずに排出されてしまうのだ。さらに、摂取しても臓器優先に利

用としては抗酸化作用、活性酸素除去作用、コラーゲン合成作用、抗ストレス作用、神経伝達物質生成作用、免疫増強作用のほか、脂質代謝への関与、善玉コレステロールの増加に働き、生命維持や老化を遅らせることも最近の研究で明らかになった。

化学処理なしの特殊技術

昔から、ビタミンCの肌に対する様々な効用は認められている。特に還元作用は強力

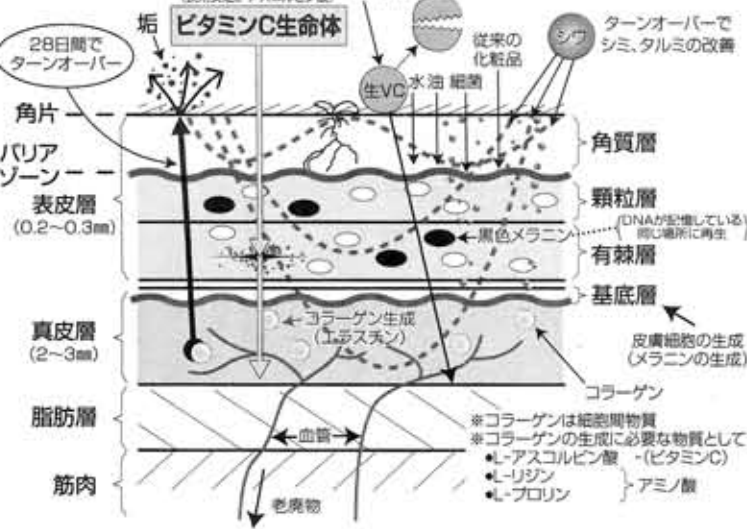
で、美白を目的としたシミ、ソバカスの治療では、皮膚浸透性のあるビタミンCを二三日用いることもある。

また、一般に医薬部外品で有効成分として認められるビタミンC配合量は二〜三%。しかし、ビタミンC生命体は七%という高濃度配合でさらに機能性を高めている。

また、一般に医薬部外品で有効成分として認められるビタミンC配合量は二〜三%。しかし、ビタミンC生命体は七%という高濃度配合でさらに機能性を高めている。

また、一般に医薬部外品で有効成分として認められるビタミンC配合量は二〜三%。しかし、ビタミンC生命体は七%という高濃度配合でさらに機能性を高めている。

■皮膚構造図



■注目の新・ビタミンC生命体とは？

種類	成分・用途など	安定性
1 水溶性ビタミンC誘導体	リン酸型ビタミンC (AP), ビタミンCにリン酸が結合。リン酸型アスコルビル-Naやリン酸アスコルビル-Mgがある。体内前方のVCローションやイオン導入の原料として使われる。	生体内で分解されるとアスコルビン酸に変化
2 脂溶性ビタミンC誘導体	成分名アトラヘキシルテカン酸アスコルビル (VCI-P)。ビタミンCに油分が結合した。ジェル、クリームで使われる。	生体内で分解されるとアスコルビン酸に変化
3 生ビタミンC	糖漿や多価アルコールなどの安定化成分で混合した。美容液で使われる	?
4 新・ビタミンC生命体	L-アスコルビン酸型ビタミンC。100%植物由来原料で、パーム椰子由来のグリセリンに溶解。7~8%濃度で長期安定化された。ジェルで使われる。	2年間安定

昔から、ビタミンCの肌に対する様々な効用は認められている。特に還元作用は強力

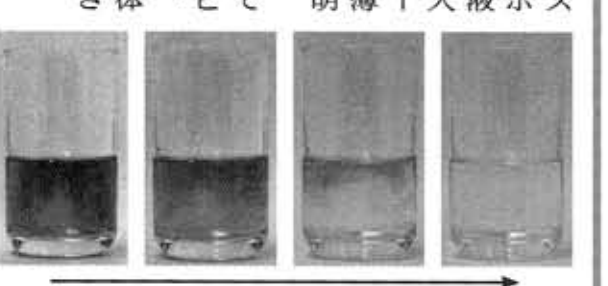
で、美白を目的としたシミ、ソバカスの治療では、皮膚浸透性のあるビタミンCを二三日用いることもある。

また、一般に医薬部外品で有効成分として認められるビタミンC配合量は二〜三%。しかし、ビタミンC生命体は七%という高濃度配合でさらに機能性を高めている。

また、一般に医薬部外品で有効成分として認められるビタミンC配合量は二〜三%。しかし、ビタミンC生命体は七%という高濃度配合でさらに機能性を高めている。

また、一般に医薬部外品で有効成分として認められるビタミンC配合量は二〜三%。しかし、ビタミンC生命体は七%という高濃度配合でさらに機能性を高めている。

また、一般に医薬部外品で有効成分として認められるビタミンC配合量は二〜三%。しかし、ビタミンC生命体は七%という高濃度配合でさらに機能性を高めている。



ビタミンC生命体の還元力テスト

また、一般に医薬部外品で有効成分として認められるビタミンC配合量は二〜三%。しかし、ビタミンC生命体は七%という高濃度配合でさらに機能性を高めている。